



山は空に続き、緑輝き、水踊り、のびやかな風景が心を癒します



▲稚児舞台

安 達太良山の裾野に広がる安達町。東側にゆったりと阿武隈川が流れ、山の緑、さらさらと流れる水が四季折々、美しい風景を見せてくれます。智恵子抄で詠われた「ほんとの空」がここにはあります。

阿 武隈川の流れがつくり上げた景勝地「稚児舞台」は、川の流れが蛇行して兩岸が迫り、奇岩怪岩が連なる千変万化の景観で県十景にも数えられています。また、「ゆきやなぎ」の群生地と



▲鞍石山



▲弥惣坊公園



▲七石山公園

しても知られ、花の季節には岩場一帯に美しい花が咲き競います。阿武隈川沿いには「川面公園」があり、誰もが気軽に川と親しめる場所があります。

稚 児舞台から程近い「七石山公園」は、つつじの名所として知られています。ここは寛政年間、佐藤大膳大夫の居住した「愛宕館」があった場所で、山頂には堂守(将軍地蔵尊)があり、三観音像や庚申等の神号が刻まれた花崗岩の奇岩、自然石の文字を彫った塔碑なども残されています。

高 村光太郎と智恵子のゆかりの地である「鞍石山」は、現在「智恵子の杜公園」として整備され、町民の憩いの場となっています。安達太良山と阿武隈川が同時に眺められる「詩碑の丘」に立ち、しばし智恵子と光太郎の純愛の世界に浸るのもよいでしょう。